

平成30年度第1回多職種連携研修会 アンケート集計結果(抜粋版)

- ◆開催日時 平成30年6月1(金) 午後6時30分から8時45分まで
- ◆テーマ 「三条市における地域包括ケアシステム構築に向け、それぞれの職種や立場で取り組むことを考える。」
- ◆研修会参加人数 152名
- ◆アンケート回収率92.10%

Q1.Q2.回答職種・所属

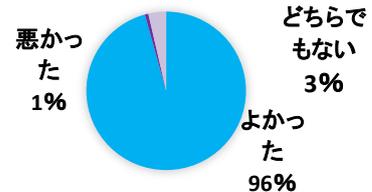
| 職種 | 人 | 所属 | 人 | 職種 | 人 | 所属 | 人 | | |
|---------|----|------------|---|-------------|------------|-------------|------------|------------|---|
| 医師 | 5 | 病院 | 2 | 介護支援専門員 | 31 | 介護保険事業所 | 23 | | |
| | | 診療所 | 2 | | | 地域包括支援センター | 2 | | |
| | | 記載なし | 1 | | | 回答なし | 2 | | |
| 歯科医師 | 5 | 診療所 | 4 | | | GH | 1 | | |
| | | 病診 | 1 | | | 居宅介護保険事業所 | 1 | | |
| | | 新潟県弁護士会 | 3 | | | 病院 | 1 | | |
| 弁護士 | 5 | 法律事務所 | 1 | | | その他 | 1 | | |
| | | その他 | 1 | | | 介護保険事業所 | 3 | | |
| 薬剤師 | 9 | 薬局 | 9 | | | 社会福祉士 | 7 | 医療機関 | 1 |
| 保健師 | 3 | 訪問看護ステーション | 1 | | | | | 地域包括支援センター | 1 |
| | | 行政 | 1 | その他 | 1 | | | | |
| | | その他 | 1 | 記載なし | 1 | | | | |
| 看護師 | 14 | 訪問看護ステーション | 5 | 介護福祉士 | 7 | 介護保険事業所 | 5 | | |
| | | 病院 | 4 | | | 地域包括支援センター | 1 | | |
| | | 介護保険事業所 | 2 | | | 回答なし | 1 | | |
| | | 理学療法士 | 6 | 地域包括支援センター | 2 | ヘルパー | 5 | 介護保険事業所 | 5 |
| | | | | 診療所 | 1 | 医療SW | 6 | 病院 | 4 |
| 介護保険事業所 | 3 | | | 医療機関 | 2 | | | | |
| 作業療法士 | 4 | 医療機関 | 2 | 相談員 | 5 | 介護保険事業所 | 3 | | |
| | | 訪問看護ステーション | 1 | | | 特養 | 1 | | |
| | | 介護保険事業所 | 2 | | | ショートステイ | 1 | | |
| 栄養士 | 2 | 病院 | 1 | その他 | 4 | 事務 | 1 | | |
| | | 記載なし | 2 | | | 社会福祉主事 | 1 | | |
| 歯科衛生士 | 6 | 在宅歯科医療連携室 | 4 | | | 介護士 | 1 | | |
| | | 地域包括支援センター | 1 | | | 施設管理者 | 1 | | |
| | | 記載なし | 1 | 記載なし | 14 | | | | |
| | | | | 記載なし | 16 | 地域包括支援センター | 1 | | |
| | | | | 介護保険事業所 | 1 | | | | |
| | | | | 回答総数 | 140 | 回答総数 | 140 | | |

Q3(1). 研修会の内容はいかがでしたか。

【よかった】

- ・職種によって色々な物の捉え方があったことがわかった。
- ・これから具体的に取組んでいく方向性が見えてきた。
- ・仕事でも活用できると思う。
- ・1人の市民としての視点で考えることができた。
- ・患者、家族の立場に立った考えに繋げることができると思った。
- ・同職種のGワークだったため、共有しながら意見交換ができた。
- ・目指す姿を目標に順序に沿って決めていく方法がすごくよかった。
- ・わかりやすくとても勉強になった。
- ・一人ひとりが積極的に発言し、意見も多く出た。
- ・ロジックモデルの考え方にも初めて体験できたのもよかった。
- ・目標を具体化することで、夢も叶うのではないかと希望を持つことができた。
- ・職種ごとにまとまる事で同じ方向性での話ができて、今後の課題の共有ができたと思う。
- ・いつも異職種でのGワークだが、同職種のGワークでは同じ目線で同じ目標設定のもとで話し合いができた。
- ・これから先を見据えて、みんなで三条市の事、自分の事を考えられる機会をいただきよかった。
- ・同じ職種の人々のGワークも別の意味での顔の見える関係づくりができてよかったと思う。
- ・ロジックモデルの考え方をもち入れて実際の事業を同じ職種で考えられた。

Q3(1).研修会内容について



- ・Gワークのやり方の説明が少しわかりにくかったが、書き出してみると私たちが何をしなければならぬのか、目指すことについて考えることができてよかったと思う。
- ・ロジックモデルで三条市の目指す姿を検討したが、実現させるためには官民一体となる必要性を再認識した。
- ・現実に夢を語り合える場面が少ないのが現実だが、今回は自分だけでなく、みんなで共感しあえるGワークだった。
- ・これまで問題意識は持ちつつも何をどうすればよいかわからなかったが、ロジックモデルを使い皆さんと論議をして、自分がどう地域社会に関わっていけばよいか少し見えてきた気がする。

【悪かった】

- ・同じ職種の人達だけの話では広がりを感じられない。前回の方が面白かったと思う。目指す方向は理想論になってしまうので、どのGワークも結局同じことを言っている。

【どちらでもない】

- ・野球(大谷選手)の例えはとても分かりやすかった。
- ・Gワークは職種ごとではなく、別々の職種がばらけて入った方が連携になる。
- ・理想目標よりもそのための手段、方法が現実化できるような研修がよい。
- ・多職種と言っても、同じ職種でまとまっていたので、思っていた形と違った。
- ・在宅の経験がなく、どうすれば在宅に繋げられるかのヒントを見つけられればと思ったが収穫がなかった。

Q3(2). 今回、外部講師をお願いした研修でしたが今後も希望します

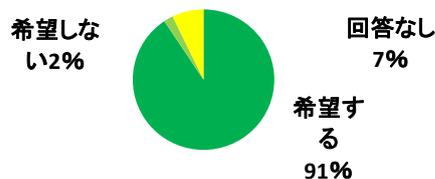
【希望する】

- ・ロジックモデルの面白さを得た。
- ・広く深い知識が得られる。
- ・目線、視点が違う話を聞くことができる。
- ・人口減少を踏まえた在宅、介護、多職種の連携など。
- ・どのような基本構想のもとの取り組みなのかわかりやすかった。
- ・各職種、事業所形態の違う施設内の情報共有方法。
- ・他の地域から見た客観的視点での話し合いが聞けるから。
- ・他地域との比較(プラス面もマイナス面も)がわかるのが有効かと思う。
- ・全国的な取り組み等を知り、自分の地域を客観視できる機会になるので。
- ・皆さんが考えていることが自分と同じなんだと感じ、やりがい生まれた。
- ・外からの意見を取り入れる。外の動きが分かれば目安、基準が分かると思われる。もちろん中での検討は必要。
- ・第7期計画を充実させるためにも実践にどれだけ反映できるのか、また第8期に向け研修してもらおうと思う。
- ・専門的な方が会を誘導した方がよい。

【希望しない】

- ・説明は短い方がいい。

Q3(2).外部講師について



Q4. 今後、希望される研修等がありますか。

- ・長岡のこぶし園の地域包括ケアを聞いてみたい。
- ・長尾和宏医師をお招きしてお話を聞いてみたい。
- ・認知症についての研修
- ・自宅で最期を迎えるための取り組みについて
- ・意思決定支援に関する研修
- ・地域連携に関する内容→こうすると連携ができるよ！！
- ・様々な職種が出席率高く集まっているので、事例を元にした研修でもよいのでは、と思う。
- ・具体的事例を提示し、どんどん考える場をもってほしい。
- ・各職種1名ずつでチームを作り、どの様に対応するか、シミュレーション形の研修
- ・具体的に三条市で取り組むことを話し合っ決めて実現できるような研修。今回(移動スーパーや保健師と訪問看護の連携など)
- ・今日、Gワークした模造紙は各職種のアイディアの宝庫であり、とても貴重な資料である。市役所において各グループの模造紙を整理し、フィードバックして具体的取り組みに反映させてもらいたいし、市役所は反映させる責務があると思う。
- ・地域の実情や現状に即して現実化できるような研修